
令和4年度予算第二特別委員会質問要旨

○ 局別審査

令和4年3月9日

質問者（質問順）

- 1 福地 茂 委員（自民党）
- 2 草間 剛 委員（自民党）
- 3 森 ひろたか 委員（立憲党）
- 4 望月 康弘 委員（公明党）
- 5 古谷 靖彦 委員（共産党）

財 政 局

局 別 審 査

1 福 地 茂 委員（自民党）

1 令和4年度予算案と財政ビジョンについて

(1) 令和4年度予算案と財政ビジョンの公表について

ア 令和4年度予算案と財政ビジョンを同時に公表した所感について伺いたい。

イ 財政ビジョンを真に実現するためには、各区局に浸透させることが一番重要であると考えているが、見解を伺いたい。

(要望) 区局が策定する各種計画に財政ビジョンの趣旨が反映され、財政ビジョンを土台とした様々な施策を進めることを要望する。

(2) 財政ビジョンのうち制度的対応としての地方税財政制度の充実について

ア 財政ビジョンに地方税財政制度の充実について盛り込んだ考え方を伺いたい。

イ 地方交付税制度から見た財政構造の分析の意図と内容について伺いたい。

ウ 地方交付税制度から見た財政構造の分析から得られた示唆について伺いたい。

(要望) 市独自の取組については、コストに対する政策効果をしっかり検証し、財政の持続可能性に欠ける状況を着実に改善していただきたい。

エ 地方税財政制度に対する課題認識と解決に向けたアクションについて伺いたい。

(要望) 本市の財政を持続可能なものとするため、地方税財政制度の充実に向け、主体的に行動していただきたい。

2 保有資産の戦略的利活用について

(1) 現中期計画における令和2年度末までの資産活用の取組状況について伺いたい。

(2) 未利用等土地の全体像を示した狙いについて伺いたい。

(3) 未利用等土地の内訳について伺いたい。

(4) 新しい資産活用の取組に期待することについて伺いたい。

(要望) 保有資産の利活用について、周辺住民のご理解を得ながら、一步一步努力を重ねていただきたい。

3 財政ビジョンを踏まえた横浜市公共施設管理基本方針の見直しについて

(1) 現在の公共施設管理基本方針の内容について伺いたい。

(2) 総務省からの要請の概要について伺いたい。

(3) 財政ビジョンを踏まえた公共施設管理基本方針の主な見直し内容について伺いたい。

(4) 公共施設管理基本方針の見直しにより期待される効果について伺いたい。

(要望) 公共施設の適正化を図る公共施設マネジメントの取組方針を、しっかりと取りまとめていただきたい。

4 新たな財務会計システム構築における行政経営プラットフォームについて

(1) 新たな財務会計システム構築のポイントについて伺いたい。

(2) 行政経営プラットフォームで実現することについて伺いたい。

(要望) これまでの自治体にはない新たな行政経営プラットフォームができるようしっかりと推進することを要望する。

5 税務手続きのデジタル化と税務システム再構築の取組について

(1) これまでの税務手続きにおけるデジタル化に向けた取組について伺いたい。

(2) 税務手続きにおけるスマートフォンの利用状況について伺いたい。

(3) 税務手続きにおいて今後予定しているデジタル化の取組について伺いたい。

(4) 税務システムの再構築を通じた本市税業務の効率化について伺いたい。

6 委託業務の最低制限価格制度について

(1) 導入時からの改正状況について伺いたい。

(2) 最低制限価格の設定率の引き上げによる落札率への影響について伺いたい。

(3) 見直しの必要性について見解を伺いたい。

(要望) 低価格競争に対しては、今後も必要な取組を積極的に行っていただくよう強く要望する。

1 ロシアによるウクライナ侵略とエネルギー収支について

(1) ロシアのウクライナへの侵略が本市財政に及ぼす影響について現時点における考え方を伺いたい。

(2) 本市の電気代やガス代を財政局は把握できていないのか伺いたい。

(3) 本市の電気代やガス代を財政局として把握すべきと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 本市の電気代やガス代を財政局としてもしっかりと把握するよう、検討いただきたい。

(4) エネルギー収支改善のために財政局も主導的に検討に入るべきと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 財政局としても、調達などエネルギー収支改善策について検討することを要望する。

(要望) ウクライナ、特に姉妹都市であるオデッサ市の要望に沿うよう適切に支援金を送金するよう強く要望する。

2 財政ビジョンと歳出改革について

(1) いつ、どのような経緯で財政ビジョンを策定しようと考えたのか伺いたい。

(2) 財政局は財政ビジョンを活用して、どのような財政運営を行っていきたいのか伺いたい。

(3) 予算編成において、各局と財政局が、共同作業として良い解決策を導いていくという進め方が非常に重要であるとの副市長の見解について、財政局としても同じ見解でいるのか伺いたい。

(4) エレベーター保守管理業務の事例についての所感を伺いたい。

(5) 公共施設の保守管理についてのコストダウンを図るべきと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 歳出改革を行う機会は、この財政ビジョンを策定した機会しかないため、専門性を持った第三者を複数入れるなどしながら進めていただきたい。

3 財政ビジョンと歳入について

- (1) 今回示された財政ビジョンでは、歳入面の取組は従前と同様のレベルに留まっている印象を受けるが、歳出改革だけに偏ることなく、これとセットで、歳入確保の取組も進めていくべきと考えるが、見解を伺いたい。
 - (2) 財政ビジョンを進めるに当たり、土地政策をはじめとするまちづくり政策全般との整合性を取り、駅周辺の市街化調整区域を解除して固定資産税等の増収につなげるなど、税財源基盤の強化につなげるべきと考えるが、見解を伺いたい。
 - (3) 都筑区あゆみが丘の未利用地などは、期間目標を設定し活用を進めるべきと考えるが、見解を伺いたい。
 - (4) 市民に危機意識を持ってもらうため、財政ビジョンで掲げる様々な取組をどのように進めていくのか伺いたい。
- (要望) 市民に財政状況への危機意識を共有するため、未利用等土地の活用や駅周辺の市街化調整区域への対応などに、全庁的に取り組んでいただきたい。

4 予算編成におけるデータ活用について

- (1) 予算編成におけるデータ活用を財政局では誰が担当しているのか伺いたい。
- (2) 施策の立案におけるデータ活用を各局だけに任せるのではなく、予算編成を担う財政局にデータサイエンティストを入れるべきと考えるが、見解を伺いたい。

5 WTO工事における低価格競争対策について

- (1) WTO対象の港湾工事に係る苦情申立ての経緯について伺いたい。
 - (2) 苦情申立てに対する入札等監視委員会での検討結果について伺いたい。
 - (3) 苦情申立てが行われるような事態を招いているそもそもの原因についての見解を伺いたい。
 - (4) WTO工事における低価格競争対策の進め方について伺いたい。
- (要望) 低入札対策について、不断の努力を続けていただきたい。

1 新たな財務会計システムについて

(1) 未収債権管理や資産管理も含めたシステム構成とした趣旨について伺いたい。

(要望) 今後の財政運営に当たり、経営の視点に立ち必要となるデータを集積し、
限りある資源を最大限活用できるシステム構築を進めていただきたい。

(2) 資産管理機能の特徴について伺いたい。

(3) 資産管理機能を最大限活かして経営判断に役立てていくべきと考えるが、見
解を伺いたい。

(要望) 集約・蓄積したストック情報を活用し将来を見据えた公共施設のあり方を
考え、よりよいシステム構築に向けて、しっかり取組を進めていただきたい。

2 未収債権管理について

(1) 未収債権に対するこれまでの取組と今後の課題について伺いたい。

(2) 未収債権管理システムの導入効果について伺いたい。

(要望) 未収債権管理システムの導入準備を着実に進め、全ての債権管理業務の効
率化と未収債権額の更なる縮減に向け一層の奮闘を要望する。

3 ふるさと納税について

(1) ふるさと納税に対する認識について伺いたい。

(2) 本市の人気の返礼品と傾向について伺いたい。

(3) 市内企業と連携してオリジナル返礼品などを検討すべきと考えるが、見解を
伺いたい。

(要望) 市内企業の支援やふるさと納税の増収につながるよう、返礼品拡充の取組
を強化していただきたい。

4 財政ビジョンにおける資産経営について

(1) 資産経営を財政ビジョンの基本方針の1つに掲げたことに対する思いについ
て伺いたい。

- (2) 未利用等土地の適正化に向けた目標設定に対する認識について伺いたい。
- (3) 未利用等土地の適正化の目標を達成するための進め方について伺いたい。
- (要望) 未利用等土地について、ロードマップも作成しながら、解消に向けた取組を進めていただきたい。
- (4) 将来の公共建築物の総量を1割縮減する目標をどのように捉えているのか伺いたい。
- (5) 公共建築物の再編整備の基本的な考え方について伺いたい。
- (6) 次期中期計画において公共建築物の縮減目標をどのように扱っていくのか伺いたい。
- (7) 資産経営の数値目標の達成に向けて、財政局主導のもと推進体制を強化して全市的に取組を進めるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 大規模な土地の活用や施設の統廃合は、各局で協力し最適なプランを考え市民に対し市長が先頭に立って丁寧に情報発信することを要望する。

5 財政ビジョンにおける収支差解消の取組について

- (1) これまでの中田市政と林市政における財政運営の実績と評価について伺いたい。
- (2) 特別自治市を目指すことと財政ビジョンとの関係性について伺いたい。
- (3) 500億円規模の歳出改革についての受け止め方を伺いたい。
- (4) 歳出改革の取組にあたって、予算編成などにおける財政局の総合調整機能を遺憾なく発揮すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (5) 持続可能な財政運営に向けた全庁的な歳出改革の推進にあたっての意気込みについて伺いたい。
- (要望) 庁内横断的な検討体制を作るとともに、しっかりと市民に対して説明をしたうえで市長の強いリーダーシップのもと取組を推進していただきたい。

1 財政ビジョンについて

- (1) 一般会計が対応する借入金の市民一人当たり残高を中長期のベンチマークとして設定した考え方について伺いたい。
- (2) 横浜方式のプライマリーバランスをベンチマークとして設定しなかった理由について伺いたい。
- (3) 一般会計が対応する借入金の市民一人当たり残高について、2021年度末残高を基準とした理由について伺いたい。
- (4) 将来に向けた債務管理の実効性を担保する手法について伺いたい。
- (5) 特別自治市が実現した場合の財政ビジョンの取扱いについて伺いたい。
- (要望) 今後も適切に市債活用と残高管理を行っていただきたい。

2 保有資産の戦略的利活用について

- (1) 今年度の公民連携等による資産活用の取組状況について伺いたい。
- (2) 公民連携による資産活用を進める上での課題と対応について伺いたい。
- (3) 横浜信用金庫との包括連携協定の内容について伺いたい。
- (4) 横浜信用金庫と包括連携協定を締結した狙いについて伺いたい。
- (5) 将来の資産活用を担う人材の育成についての考え方を伺いたい。
- (6) 資産活用は市内横断的に行うことで、従来にない考え方や手法が生み出され、活用が進むと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 民間のアイデアを引き出し、生かせる人材を育て、多様な公民連携により資産活用を積極的に進めることを期待する。

3 横浜市のふるさと納税の推進について

- (1) 京都市や名古屋市の状況に対する見解について伺いたい。
- (2) 本市へのふるさと納税促進に向けた令和4年度の取組について伺いたい。
- (3) ドラマのロケ地を巡るツアーなどと組み合わせて体験型返礼品を推進していくべきと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) シティプロモーション推進室の設置が予定される中、効果的なプロモーションを実施し、寄附金の獲得に向けて全庁を挙げて取り組むよう要望する。

4 財政見える化ダッシュボードについて

(1) 設置の趣旨について伺いたい。

(2) アクセス数とその評価について伺いたい。

(3) データ更新と今後の活用について伺いたい。

(要望) 市の事業全体を網羅した貴重なデータ可視化ツールであるため、庁内外での一層の活用につなげていただきたい。

5 税務システムの再構築と標準化について

(1) システム再構築に向けた令和4年度の実施内容について伺いたい。

(2) 税業務と職員の働き方がどのように変わるのか伺いたい。

(3) 市民にとってどのように便利になるのか伺いたい。

(要望) デジタル機器に不慣れな方など、市民を誰一人取り残すことのない形で行政サービスの提供を進めていただきたい。

6 新たな財務会計システムについて

(1) 現状の課題と新システムでの対応について伺いたい。

(2) 機械的なチェックは可能な限りシステムで自動化し、これからは事業の中身や全体の中での関連性、優先付けなど、より本質的な議論・検討に力を注いでいくべきと考えるが、見解を伺いたい。

(3) 財政局としてのDX推進の取組姿勢について伺いたい。

(要望) 新たな財務会計システムの構築が本市のDXをリードするような先進的な事例となるよう、今後も前向きに取り組んでいただきたい。

7 電子入札システムの利便性の向上について

(1) 電子入札システムの利用範囲の拡大に当たりどのような改修を行うのか伺いたい。

- (2) 利用範囲の拡大により事業者にとってどのような効果があるのか伺いたい。
(要望) システム等に不慣れな事業者が、電子入札システムの利用拡大により受注機会を失うことが無いよう、丁寧でしっかりとした支援を要望する。

8 公共建築物の再編整備の推進について

- (1) 小中学校建替えに伴う多目的化・複合化の取組状況と令和4年度の予定について伺いたい。
- (2) 豊岡小学校再編整備事業の推進に期待する効果について伺いたい。
- (3) 再編整備の促進に当たり、財政局が担う役割について伺いたい。
(要望) 再編整備に当たり、財政局が調整役となり、学校における夜間照明の設置の可能性を検討していただくよう強く要望する。

- 1 誰もが住み続けたい横浜にするための財政運営について
 - (1) 公約実現に必要な財源確保に向けた決意について伺いたい。
 - (2) 公約を含む必要な施策の推進をするための財源確保はできるのか伺いたい。
 - (3) 人件費、公債費、社会保障費を除く10億円以上の事業について、例えばそれぞれ1%削減していくと予算が出てくると考えるが、見解を伺いたい。
 - (4) 本市の財政力指数は他都市と比較してどのような状況か伺いたい。
 - (5) 本市財政が厳しい状況に陥った原因について伺いたい。
 - (6) 本市が厳しい財政状況にあることを認識した時期について伺いたい。
 - (7) 以前から厳しい財政状況にあったのであれば、市庁舎建替えは止めるべきだったと考えるが、見解を伺いたい。
 - (8) 前市長時代に検討されていた新たな劇場整備は、本市の財政状況を顧みない無謀なものだったと考えるが、見解を伺いたい。
 - (9) 市庁舎の建替えや新たな劇場整備など財政サイドからのハンドリングはなかったのか伺いたい。
 - (10) 各年度の予算編成を行った結果、今の財政状況になっているので、財政サイドからのハンドリングは本当になかったのか伺いたい。
 - (11) 厳しい財政状況になることは、財政局としてわかっていたのではないかと考えるが、見解を伺いたい。
 - (12) 市庁舎整備は今回の財政状況には一切関わらなかったのか伺いたい。
 - (13) 現在進行や今後計画されている大規模公共事業も歳出改革の対象に含まれるのか伺いたい。
 - (14) ゼロベースで検討するということは、現在進行や今後計画されている大規模公共事業も歳出改革の対象になるのか伺いたい。
 - (15) 本市財政が硬直化している理由について伺いたい。
 - (16) 硬直化している一つの要素である公債費を抑制するための方策について伺いたい。
 - (17) 硬直化は本市だけの特有なものなのか伺いたい。

- (18) 令和4年度予算案の社会保障経費の中で、本市独自の施策として実施している事業の一般財源の総額について伺いたい。
- (19) 本市独自の施策は、本市が多くの方から住みたい都市として選ばれる要素になると考えるが、見解を伺いたい。
- (20) 本市の市民一人当たりの社会保障経費は、川崎市に次いで低い水準にあり、これを改善すれば、本市が多くの方から選ばれる都市になると考えるが、見解を伺いたい。
- (21) 社会保障経費が他都市と比べて低い理由について伺いたい。
- (22) 本市が多くの方から住みたい、住み続けたいと選ばれる都市を目指すために財政局が果たすべき役割について伺いたい。
- (23) 市民サービスが他都市と比べて劣っているのは、住みたい都市として選ばれないと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 財政局長として、公約実現に向けて必要な財源を捻出する責務を果たしていただきたい。